

宿泊約款

Accommodation
Terms and Conditions

住宿條款

住宿條款

숙박약관

東京西葛西
ベストウェスタン 東京西葛西グランド
横浜

目次 / CONTENTS / 目录 / 目錄 / 목차

宿泊約款----- 1~ 8

Accommodation

Terms and Conditions----- 9~16

住宿条款----- 17~24

住宿條款----- 25~32

숙박 약관----- 33~40

宿 泊 約 款

宿泊約款

(適用範囲)

第1条

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第(2)号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第13条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めな

かった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力であるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、法人でその役員のうち暴力団に該当する者がいるとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が、当ホテルもしくは当ホテル従業員に対して暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (10) 宿泊しようとする者が、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。宿泊者名簿の記載に応じず、又はその記載事項について虚偽の申告をしたとき。明らかに支払能力がないと認められるとき。
 - (11) 都道府県が定める旅館業法施行条例の規定に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれ

があると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

- (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (4) 暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力であるとき。
 - (5) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であること。
 - (6) 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき。
 - (7) 宿泊客が当ホテルもしくは当ホテル従業員に対して、暴力的要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。宿泊者名簿の記載に応じず、又はその記載事項について虚偽の申告をしたとき。明らかに支払能力がないと認められるとき。
 - (9) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - (10) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - (11) 都道府県が定める旅館業法施行条例の規定に該当するとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第13条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、【東京西葛西 / 東京西葛西グランド：午後3時から翌朝10時、横浜：午後2時から翌朝10時まで】とします。ただし、連続して宿泊する場
合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 正午までは、基本室料金30%
 - (2) 午後3時までは、基本室料金50%
 - (3) 午後3時以上は、1日分の室料

(利用規則の遵守)

第10条

1. 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めて当ホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(客室の清掃)

第11条

1. お客様が2泊以上連続して同一の客室に宿泊する場合、当該客室の清掃は原則として毎日行います。
2. お客様から清掃不要である旨の要望を受けた場合であっても、旅館業法に定める衛生環境保全のため、2日経過ごとに1回清掃を行います。

(営業時間)

第12条

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。
 - (1) フロント・キャッシャー等サービス時間：
 - イ. フロントサービス：24時間
 - (2) 飲食等（施設）サービス時間：
 - イ. 朝食・・・東京西葛西：6:45～9:30
東京西葛西グランデ：6:30～10:00
横 浜：7:00～9:30
 - ロ. 昼食・・・東京西葛西：11:30～14:00
横 浜：11:30～14:00（日・祝祭日は休み）
 - ハ. 夕食（東京西葛西のみ）・・・17:30～21:30（土・日・祝祭日は最終入場20:30）
 - (3) 附帯サービス施設時間：当ホテルの定めによらせていただきます。
2. 上記営業時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。
3. お客様が客室を使用できる時間内であっても、当ホテルは、安全及び衛生管理その他当ホテルの運営管理上の必要があるときは、客室に立入り、必要な措置をとることができるものとします。

(料金の支払い)

第13条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその精定方法は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第 14 条

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、消防機関から防災優良認定書を受領しておりますが、防災施設の整備に努めるほか、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 15 条

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 16 条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 5 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、3 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 17 条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日から一定期間ホテルにて保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車の責任)

第 18 条

1. 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 19 条

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(免責事項)

第 20 条

1. 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用に当たっては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。又、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係）

		内 訳
宿泊客が 支払うべき 総額	宿泊 料金	①基本宿泊料（室料〈及び室料+朝食等の飲食料〉）
	追加 料金	②追加飲食（①に含まれるものを除く）
	税金	イ. 消費税 ロ. 入湯税（温泉地のみ）

1. 基本宿泊料はパンフレットに掲示する料金表によります。
2. 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を 受けた日		不 泊	当 日	前 日	9 日 前	20 日 前
一 般	14名まで	100%	80%	20%	—	—
団 体	15～99名まで	100%	80%	50%	20%	—
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申し込みをお引き受けした場合には、そのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

Accommodation Terms and Conditions

Accommodation Terms and Conditions

Scope of Application

Article 1.

1. The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our hotel and the Guest shall be according to these Terms and Conditions. Any matter not stipulated in these Terms and Conditions shall be according to laws, ordinances, and generally established practice.
2. When our hotel has agreed to conclude a Special Contract that does not conflict with laws, ordinances, or established practice, that Special Contract shall prevail.

Application for an Accommodation Contract

Article 2.

1. The Guest who intends to apply to our hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our hotel with the following particulars:
 - (1) Name(s) of Guest(s)
 - (2) Accommodation date(s) and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation charge
(according to the basic accommodation charges in the attached Schedule I, in principle)
 - (4) Other information considered necessary by our hotel
2. If during his/her stay, the Guest requests continued accommodation beyond the date described in (2) above, our hotel shall handle that as a new application for an Accommodation Contract made at the time of that request.

Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

Article 3.

1. The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our hotel has accepted the application described in the preceding article, unless our hotel has certified that our hotel has not accepted said application.
2. When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding paragraph, the Application Money payable as set by our hotel for the accommodation period shall be paid by the date set by us, at most equal to the basic accommodation charge (for 3 days in cases where the accommodation period exceeds 3 days).
3. The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when circumstances requiring application of the provisions of Article 6 or Article 19 have arisen, to penalty and then to compensation money, in this order. If there is any balance left, it will be repaid when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 13.
4. If the Application Money described in Paragraph 2 of this article has not been paid by the date set by our hotel as stipulated in the same paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but only if our hotel notified the Guest to that effect when specifying the payment due date for the Application Money.

Special Contract Not Requiring Payment of Application Money

Article 4.

1. Notwithstanding the provision of the preceding Article 3, Paragraph 2, there are cases where after the conclusion of the Contract, our hotel accepts a Special Contract that does not require payment of Application Money specified in said paragraph.
2. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our hotel

fails to request payment of the Application Money specified in the preceding article, Paragraph 2, and/or fails to specify the due date for payment of said Application Money, the Special Contract described in the preceding paragraph shall be considered to have been accepted.

Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

Article 5.

1. The following are cases where our hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract:
 - (1) When application for accommodation is not according to these Terms and Conditions.
 - (2) When there is no room available due to full occupancy.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of laws or ordinances, public order, or good public morals.
 - (4) When the Guest seeking accommodation is a gang group, a member of a gang group, an association related to a gang group, a member of said association, or a member of any other antisocial force.
 - (5) When the Guest seeking accommodation is a legal person or any other association whose business activities are controlled by a gang group or a member of gang group.
 - (6) When the Guest seeking accommodation is a legal person any one of the officers of which is a member of gang group.
 - (7) When the Guest seeking accommodation makes an abusive request to our hotel or its staff or makes to the same a request beyond the reasonable scope of responsibility.
 - (8) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be ill with an infectious disease.
 - (9) When disaster, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our hotel.
 - (10) When other guests are likely to be bothered because the Guest seeking accommodation is drunk, etc., when there is speech or conduct which significantly bothers other guests, when the guest register does not match, or a false report was made concerning the items registered, or when the Guest seeking accommodation is deemed clearly unable to pay.
 - (11) When any of the provisions of the Enforcement Ordinance of the Inns and Hotels Act issued by the prefecture is applicable.

The Guest's Right to Cancel the Contract

Article 6.

1. The Guest may request our hotel to cancel the Accommodation Contract.
2. If the Guest has canceled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has canceled the Accommodation Contract before such payment), payment of penalty shall be required as specified in the attached Schedule II. But in the case that our hotel has accepted a Special Contract as described in Article 4, Paragraph 1, this provision shall be applied only to the case where our hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.
3. If the Guest does not arrive by 8 p.m. on the accommodation date without informing our hotel of a delay (or two (2) hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been canceled by the Guest and will be handled accordingly.

The Right of Our hotel to Cancel the Contract

Article 7.

1. The following are cases where our hotel may cancel the Accommodation Contract:
 - (1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of laws, ordinances, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
 - (2) When the Guest is clearly considered to be ill with an infectious disease.
 - (3) When force majeure, such as a disaster, prevents the Guest from staying at our hotel.
 - (4) When the Guest is a gang group, a member of a gang group, an association related to a gang group, a member of said association, or a member of any other antisocial force.
 - (5) When the Guest is a legal person or any other association whose business activities are controlled by a gang group or a member of gang group.
 - (6) When the Guest is a legal person any one of the officers of which is a member of gang group.
 - (7) When the Guest makes an abusive request to our hotel or its staff or makes to the same a request beyond the reasonable scope of its or its staff's responsibility.
 - (8) When other guests are likely to be bothered because the Guest seeking accommodation is drunk, etc., when there is speech or conduct which significantly bothers other guests, when the guest register does not match, or a false report was made concerning the items registered, or when the Guest seeking accommodation is deemed clearly unable to pay.
 - (9) When the Guest does not comply with the prohibitive provisions of the Rules of Use applied by our hotel.
 - (10) When the Guest does not comply with the prohibitive provisions on smoking in bed and abuse of fire protection equipment, and those (only those necessary for fire prevention) of the Rules of Use applied by our hotel.
 - (11) When any of the provisions of the Enforcement Ordinance of the Inns and Hotels Act issued by the prefecture is applicable.
2. If our hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with a provision of the preceding paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Registration of Accommodation

Article 8.

1. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our hotel on the accommodation date:
 - (1) Name, age, sex, address, and occupation of the Guest.
 - (2) If a foreigner: nationality, passport number, and place and date of entry into Japan.
 - (3) Scheduled date and time of departure.
 - (4) Other particulars considered necessary by our hotel.
2. If the Guest intends to pay the charges described in Article 13 by using a means instead of currency, such as accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding paragraph.

Time Allowed for Use of the Guest Room

Article 9.

1. The time allowed for the Guest to use the guest room of our hotel shall be 【Tokyo Nishikasai & Tokyo Nishikasai Grande: from 3 p.m. to 10 a.m. of the next morning / Yokohama: from 2 p.m. to 10 a.m. of the next morning】 of the following morning. But when the Guest stays for more than one night in succession, the Guest may use the guest room all day, except on the date of

arrival and the date of departure.

2. Notwithstanding the provision of the preceding paragraph, there are cases where our hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below.
 - (1) Until noon: 30% of the basic room charge
 - (2) Until 3 p.m.: 50% of the basic room charge
 - (3) Over 3 p.m.: Full amount equivalent to the room charge for one night

Compliance with the Rules of Use of the Hotel

Article 10.

1. While staying in our hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our hotel as prescribed by us.

Cleaning of Guest Room

Article 11.

1. When a guest stays in the same room two nights or more in a row, the room will be in principle cleaned every day.
2. Even if the guest expresses it is not necessary to clean the room, the room will be cleaned once every 2 days for maintenance of health environment in compliance with the Hotel and Ryokan Management Law of Japan.

Business Hours

Article 12.

1. The business hours of principal facilities in our hotel shall be as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in pamphlets provided, displays at major points inside our hotel, the service directory in each guest room, etc.
 - (1) Service Hours of Front Desk, Cashier, etc.
 - (a) Front Desk: 24 hours
 - (2) Drinking and Eating (Facilities) Service Hours
 - (a) Breakfast••• Tokyo Nishikasai: 6:45 - 9:30
Tokyo Nishikasai Grande: 6:30 - 10:00
Yokohama: 7:00 - 9:30
 - (b) Lunch••••• Tokyo Nishikasai: 11:30 - 14:00
Yokohama: 11:30 - 14:00 (Closes on Sundays and holidays)
 - (c) Dinner(Tokyo Nishikasai only)••• 17:30 - 21:30 (Closes at 20:30 on Saturdays, Sundays and public holidays)
 - (3) Service Hours of Related Facilities: As determined by our hotel.
2. The service hours indicated in the preceding paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.
3. Even during hours a guest can use the guest room, hotel employees may enter the guest room and take necessary actions if the hotel deems it necessary to maintain the safety and health of the guest and manage the operation of the hotel.

Payment of Charges

Article 13.

1. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest and the settlement method shall be as listed in the attached Schedule I.
2. Payment of the accommodation charge, etc. described in the preceding paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by our hotel, such as

accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time the Guest arrive at our hotel or is charged by our hotel.

3. In the case that the Guest has not stayed at our hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Responsibility of Our hotel

Article 14.

1. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract or related Contracts, or in breach of these Contracts, we shall compensate for said damage, unless said damage has been caused due to a cause not attributable to us.
2. Our hotel has received an Accreditation of good practices for disaster prevention issued by a fire department of the local administration. Nonetheless, our hotel is covered by ryokan liability insurance to cope with emergencies in case of fire, etc. while endeavoring to improve its fire and disaster prevention equipment.

Handling in Case the Guest Room Contracted Is Not Available

Article 15.

1. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our hotel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest.
2. Notwithstanding the provision of the preceding paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Handling of Checked Articles, etc.

Article 16.

1. When articles, cash, and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our hotel shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force majeure. However, in the case that we have requested clear reporting of the types and values of cash and valuables, but the Guest has not provided it, we shall compensate for the damage up to the maximum amount of 50,000 yen.
2. When the Guest has brought into our hotel articles, cash, and/or valuables but has not checked them at the front desk, we shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part. But when the Guest has not clearly reported to us beforehand the types and values of such items lost or damaged, we shall compensate for the loss or damage up to the maximum amount of 30,000 yen unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

Article 17.

1. When the baggage of the Guest has arrived at our hotel before his/her arrival, our hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

2. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, our hotel shall ask the owner of such items for his/her instructions when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, our hotel shall keep them for a definite period of time, and shall then handle them in accordance with the Lost Goods Act.
3. The responsibility of our hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two paragraphs shall conform to the provision of the preceding article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this article, and to the provision of the preceding article, Paragraph 2, in the case of the preceding paragraph of this article.

Responsibility for Parking

Article 18.

1. When the Guest uses the parking area of our hotel, our hotel only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our hotel has been asked to keep the key to the vehicle. However, our hotel shall be liable for compensation if and when the vehicle parked is damaged due to intent or negligence of our hotel in management of the parking area.

Responsibility of the Guest

Article 19.

1. In the case that our hotel has suffered damage due to the intent or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate to our hotel for said damage.

Disclaimer

Article 20.

1. Our hotel's Guest who wishes to perform computer communication during his/her stay in our hotel shall bear all responsibility for any damage to himself/herself that may arise from interruption of communication because of a system failure or any other causes during such communication operation; our hotel shall not bear responsibilities of any kind relating to such operations. Guests whose computer communication operation deemed inadequate by the Hotel has caused damage to our hotel and/or a third party shall compensate for such damage.

Schedule I

Itemized Contents of Accommodation Charge, etc.

(Relating to Article 2, Paragraph 1, Article 3, Paragraph 2, and Article 12, Paragraph 1)

		Itemized Contents
Total Amount Payable by the Guest	Accommodation Charge	① Basic Accommodation Charge (Room charge <room charge + breakfast and beverage charge>)
	Additional Charge	② Additional Drinking and Dining Charges (Items contained in ① are excluded.)
	Tax	(a) Consumption Tax (sales tax) (b) Bathing Tax (Applicable only in hot spring regions.)

1. The Basic Accommodation Charge shall be based on the Table of Charges indicated in the brochure.
2. If the tax law and regulations are modified, these charges and rates shall be revised in accordance with such modified laws and regulations.

Schedule II

Penalty (relating to Article 6, Paragraph 2)

Number of Guests Applied for		General	Group	
		1 to 14	15 to 99	100 or more
Day When Cancellation Notice Received	No-show	100%	100%	100%
	Accommodation Date	80%	80%	100%
	1 Day Before Accommodation Date	20%	50%	80%
	9 Days Before Accommodation Date	—	20%	20%
	20 Days Before Accommodation Date	—	—	10%

1. The percentage is the percentage of the Penalty against the Basic Accommodation Charge.
2. In the case that the number of days for accommodation has been reduced, Penalty for One Day (first day) shall be charged, regardless of the number of days reduced.
3. In the case that the Accommodation Contract has been canceled for a part of the group (consisting of 15 members or more), the Penalty charged shall be for the number of group members equal to 10% (fractions to be rounded up) of the total number of group members booked for accommodation as of 10 days prior to the first day of occupancy (or the date when the Accommodation Contract was accepted if less than 10 days prior to the first date of occupancy).

住宿条款

住宿条款

（适用范围）

第 1 条

1. 本饭店与住宿客人之间缔结的住宿合同以及与此相关的合同，皆依据本条款的规定。关于本条款中未规定的事项，依据法令或者已普遍形成的惯例。
2. 本饭店在不违反法律及惯例的范围内同意签订特约时，不受前款规定的制约，优先执行该特约。

（申请住宿合同）

第 2 条

1. 有意向本饭店申请住宿合同者，须向本饭店申告以下事项。
 - (1) 住宿者姓名
 - (2) 住宿日期及预定到达时刻
 - (3) 住宿费（原则上依据附表 1 规定的基本住宿费）
 - (4) 本饭店认为有必要的其它事项
2. 住宿客人在超过前款第 (2) 项所述的住宿日期要求延长住宿时，本饭店在客人提出申请时，即作为新的住宿合同申请处理。

（住宿合同的成立等）

第 3 条

1. 在本饭店接受了前条所述的申请时，住宿合同即告成立。但是，当本饭店证明了未曾接受申请时，不在此限内。
2. 依据前款的规定，住宿合同业已成立时，以住宿期间（超过 3 天时按照 3 天计算）的基本住宿费为限，客人应在本饭店指定的日期之前支付本饭店规定的申请费。
3. 申请费首先充作住宿客人最终应支付的住宿费，发生了适用第 6 条及第 19 条规定的事态时，依次充作违约金、赔偿金，如有剩余，在支付第 13 条规定的费用之际予以退还。
4. 客人不能依据第 2 款的规定在本饭店指定的日期之前支付申请费时，住宿合同失效。但是，这仅限在本饭店指定了申请费的支付期限并将之通知了客人的情况下。

（不需支付申请费的特约）

第 4 条

1. 不拘前条第 2 款的规定，本饭店有时也接受在合同成立后不需支付申请费的特别约定。
2. 在接受住宿合同申请之际，本饭店没有要求支付前条第 2 款规定的申请费及没有指定申请费的支付日期时，即视为接受了前款规定的特约。

（拒绝签订住宿合同）

第 5 条

1. 在下述情况下，本饭店有时不予签订住宿合同。
 - (1) 住宿申请不符合本条款的规定时。
 - (2) 因客房已满而没有空房时。
 - (3) 认为欲住宿者在住宿方面可能会有违反法律规定、公共秩序或者良好风俗的行为时。
 - (4) 欲住宿者为暴力团、暴力团员、暴力团相关团体或者相关人员、其它反社会性势力时。
 - (5) 欲住宿者为暴力团或者暴力团员支配事业活动的法人、其它团体时。
 - (6) 欲住宿者为法人，其高级干部之中有属于暴力团者时。
 - (7) 欲住宿者对本饭店或者本饭店的职工进行了暴力性要求行为，或者提出超出合理范围的要求时。
 - (8) 确定欲住宿者为传染病患者时。
 - (9) 由于天灾、设施的故障以及其它不得已的事由，不能接待住宿时。
 - (10) 因欲住宿者烂醉如泥而有可能给其他住宿客人造成困扰时，有明显给其他住宿客人造成困扰的言行时，不在住宿者名簿上登记或者对记载事项有虚假申告时，确认明显无支付能力时。
 - (11) 符合都道府县制定的旅馆业法施行条例的规定时。

（住宿客人的解除合同权）

第 6 条

1. 住宿客人可以向本饭店提出解除住宿合同。
2. 本饭店在住宿客人因其自身应承担责任的事由解除了全部或者部分住宿合同的情况下（不包括依据第 3 条第 2 款的规定本饭店指定了支付日期要求客人支付申请费，而住宿客人在支付之前解除了住宿合同时），将依据附表 2 的规定收取违约金。但是，在本饭店接受了第 4 条第 1 款规定的特约的情况下，仅限于本饭店在接受特约之际，告知了住宿客人解除住宿合同须支付违约金时。
3. 本饭店在住宿客人没有联系而在住宿日期当天的晚上 8 点过后（在事先明示了预定到达时刻的情况下，则在超过该时刻 2 小时）仍未到达时，则作为住宿客人解除了该住宿合同处理。

（本饭店的解除合同权）

第 7 条

1. 在下述情况下，本饭店将会解除住宿合同。
 - (1) 认为住宿客人在住宿方面可能会有违反法律规定、公共秩序或者良好风俗的行为时，或者已有上述行为时。
 - (2) 确定欲住宿客人为传染病患者时。
 - (3) 由于天灾等不可抗力引起的事由不能接待住宿时。
 - (4) 为暴力团、暴力团员、暴力团相关团体或者相关人员、其它反社会性势力时。

- (5) 为暴力团或者暴力团员支配事业活动的法人、其它团体时。
 - (6) 为法人，其高级干部之中有属于暴力团者时。
 - (7) 住宿客人对本饭店或者本饭店的职工进行了暴力性要求，或者提出超出合理范围的要求时。
 - (8) 因欲住宿者烂醉如泥而有可能给其他住宿客人造成困扰时，有明显给其他住宿客人造成困扰的言行时，不在住宿者名簿上登记或者对记载事项有虚假申告时，确认明显无支付能力时。
 - (9) 不遵守本饭店规定的利用规则的禁止事项时。
 - (10) 在客房床上吸烟、玩弄消防用设备等、不遵守其它本饭店规定的利用规则的禁止事项（限于预防火灾所需事项）时。
 - (11) 符合都道府县制定的旅馆业法施行条例的规定时。
2. 本饭店依据前款的规定解除了住宿合同时，不收取住宿客人尚未接受的住宿服务等费用。

（住宿登记）

第 8 条

1. 住宿客人须在开始住宿的当天，在本饭店的前台登记以下事项。
 - (1) 住宿客人的姓名、年龄、性别、住址及职业
 - (2) 外国人须登记国籍、护照号码、入境地点及入境年月日
 - (3) 出发日及预定出发时刻
 - (4) 其它本饭店认为必要的事项
2. 住宿客人以住宿券、信用卡等能够替代货币的方法支付第 13 条规定的费用时，须事先在进行前款规定的登记时予以出示。

（客房的使用时间）

第 9 条

1. 住宿客人可以使用本饭店客房的时间为，【东京西葛西 / 东京西葛西 Grande: 自下午 3 点至次日上午 10 点、横滨: 自下午 2 点至次日上午 10 点】。但是，在连续住宿的情况下，除到达之日及出发之日外，可以整天使用。
2. 不拘前款的规定，本饭店有时可以在前款规定的时间外为客人使用客房提供方便。这种情况下，收取如下追加费用。
 - (1) 到正午，基本房费的 30%
 - (2) 到下午 3 点，基本房费的 50%
 - (3) 下午 3 点以后，1 天的房费

（遵守利用规则）

第 10 条

1. 住宿客人在本饭店内须遵守本饭店规定并在本饭店内张贴的利用规则。

（客房的清扫）

第 11 条

1. 当顾客连续 2 晚以上住宿在同一个客房时，该客房原则上每天都进行清扫。
2. 由于旅馆业法中有关于保持卫生与环境的规定，因此，即便顾客提出不需要清扫的意愿，我们也会每过 2 天清扫一次客房。

（营业时间）

第 12 条

1. 本饭店的主要设施等的营业时间如下所示，其它设施等的详细营业时间则通过备置的小册子、各处张贴的布告、客房内的服务项目目录等予以介绍。
 - (1) 前台、会计等服务时间：
 - a. 前台服务：二十四小时
 - (2) 餐饮等（设施）的服务时间：
 - a. 早餐・・・东京西葛西：6:45～9:30
东京西葛西 Grande：6:30～10:00
横滨：7:00～9:30
 - b. 午餐・・・东京西葛西：11:30～14:00
横滨：11:30～14:00（周日和节假日为休息日）
 - c. 晚餐（仅限东京西葛西）・・・17:30～21:30（周六周日和节日的最终入店时间为 20:30）
 - (3) 附带服务设施的服务时间：依据本饭店的规定。
2. 上述营业时间在必要或不得已的情况下会有临时变更。届时会以适当的方法予以通知。
3. 即便是顾客在可以使用客房的时间段内，当本饭店认为在安全、卫生管理以及其他本饭店运营管理方面有必要时，可以进入客房，并采取必要措施。

（支付费用）

第 13 条

1. 住宿客人应予支付的住宿费用等的细目及其精定方法，如附表 1 所示。
2. 在住宿客人到达时或者本饭店要求付款时，客人应在前台以货币或者本饭店认可的住宿券、信用卡等能够替代货币的方法支付前项规定的住宿费用等。
3. 在本饭店向住宿客人提供了客房，并可以使用之后，即使是在住宿客人自愿没有住宿的情况下，也收取住宿费用。

（本饭店的责任）

第 14 条

1. 本饭店在履行住宿合同及与之有关的合同之际，或者由于不履行这些合同，给住宿客人造成损害时，赔偿其损失。但是，因不应由本饭店负责的事由造成的损失不在此限内。
2. 本饭店已领取了消防机关发给的防灾优良认定书，在努力完善防灾设施之外，为了应对发生火灾等意外情况，已经加入了旅馆赔偿责任保险。

（无法提供已签约客房时的处理）

第 15 条

1. 本饭店在无法向住宿客人提供已签约的客房时，经取得住宿客人的谅解，尽可能以同等条件介绍其它住宿设施。
2. 尽管有前款规定，本饭店在也无法介绍其它住宿设施时，向住宿客人支付相当于违约金的补偿费，并将该补偿费充作损害补偿额。但是，无法提供客房的事由并非由本饭店承担责任时，不予支付补偿费。

（寄存物品的处理）

第 16 条

1. 住宿客人寄存在前台的物品或者现金及贵重品发生了丢失、损坏等损害时，除属于不可抗力的情况外，本饭店赔偿该损失。但是，在本饭店要求明确告知现金及贵重品的种类及价额，而住宿客人并未进行告知的情况下，本饭店以 5 万日元为限度进行损害赔偿。
2. 住宿客人未寄存在前台的携带的物品或者现金及贵重品，因本饭店的故意或者过失而发生了丢失、损坏等损害时，本饭店赔偿该损失。但是，对于住宿客人没有事先明确告知种类及价额的物品，除本饭店故意或者有重大过失的情况外，本饭店以 3 万日元为限度进行损害赔偿。

（住宿客人的行李或者携带品的保管）

第 17 条

1. 在住宿客人的行李先于客人到达本饭店的情况下，本饭店只限在行李到达之前已了解时负责予以保管，并在住宿客人在前台办理住宿手续时交给客人。
2. 住宿客人已经退房离开后，在发现住宿客人的行李或者携带品遗忘在本饭店的情况下，在查明物主时，本饭店在通知物主的同时请示其指示。但是，在物主没有指示，或者无法查明物主时，自发现之日起在一定期间内由饭店予以保管，然后依据遗失物法进行处理。
3. 关于在前 2 款所述的情况下保管住宿客人的行李或者携带品时本饭店所负的责任，在第 1 款所述的情况下依据前条第 1 款的规定，在第 2 款所述的情况下依据同条第 2 款的规定。

（停车的责任）

第 18 条

1. 在住宿客人利用本饭店的停车场的情况下，不论是否寄存车钥匙，本饭店只是出借场所，并不承担管理车辆的责任。但是，管理停车场之际，因本饭店的故意或者过失而造成损害时，承担赔偿责任。

（住宿客人的责任）

第 19 条

1. 因住宿客人的故意或者过失而使本饭店蒙受损失时，该住宿客人须向本饭店赔偿损失。

（免责事项）

第 20 条

1. 在本饭店内利用电脑通讯之际，由客人自己承担责任。利用电脑通讯中因系统故障及其它理由而服务中断，结果利用者蒙受损害，即使在这种情况下本饭店也不负任何责任。并且因利用电脑通讯中有本饭店判断为不妥当的行为，而使本饭店及第三方受到损害时，该客人要赔偿损失。

附表 1 住宿费用等的细目（与第 2 条第 1 款、第 3 条第 2 款及第 12 条第 1 款有关）

		细 目
住宿客人 应支付总额	住宿 费用	①基本住宿费（房费〈及房费+早餐等的饮食费〉）
	追加 费用	②追加餐饮（不包括①所含内容）
	税金	a. 消费税 b. 沐浴税（仅限温泉地）

1. 基本住宿费依据小册子中所示的价格表。
2. 税法被改正时，依据经改正的规定。

附表 2 违约金（与第 6 条第 2 款有关）

合同申请人数		接到解除合同 通知之日	不 住 宿	当 天	1 天 前	9 天 前	20 天 前
团 体	15 ~ 99 人	100%	80%	50%	20%	—	—
	100 人以上	100%	100%	80%	20%	10%	—

1. %为相对基本住宿费的违约金的比率。
2. 在合同天数缩短了的情况下，无关缩短天数如何，收取 1 天份（第一天）的违约金。
3. 解除团体客人（15 名以上）中部分合同的情况下，在住宿日期的 10 天前（在 10 天之内接受了申请的情况下则为接受申请之日）接到解除合同通知时，对相当于原签约住宿人数 10%（有尾数时进位）的解约人数不收取违约金。

住宿條款

住宿條款

(適用範圍)

第 1 條

1. 本飯店與住宿客人之間締結的住宿合同以及與此相關的合同，皆依據本條款的規定。關於本條款中未規定的事項，依據法令或者已普遍形成的慣例。
2. 本飯店在不違反法律及慣例的範圍內同意簽訂特約時，不受前款規定的制約，優先執行該特約。

(申請住宿合同)

第 2 條

1. 有意向本飯店申請住宿合同者，須向本飯店申告以下事項。
 - (1) 住宿者姓名
 - (2) 住宿日期及預定到達時刻
 - (3) 住宿費 (原則上依據附表 1 規定的基本住宿費)
 - (4) 本飯店認為有必要的其它事項
2. 住宿客人在超過前款第 (2) 項所述的住宿日期要求延長住宿時，本飯店在客人提出申請時，即作為新的住宿合同申請處理。

(住宿合同的成立等)

第 3 條

1. 在本飯店接受了前條所述的申請時，住宿合同即告成立。但是，當本飯店證明了未曾接受申請時，不在此限內。
2. 依據前款的規定，住宿合同業已成立時，以住宿期間 (超過 3 天時按照 3 天計算) 的基本住宿費為限，客人應在本飯店指定的日期之前支付本飯店規定的申請費。
3. 申請費首先充作住宿客人最終應支付的住宿費，發生了適用第 6 條及第 19 條規定的事態時，依次充作違約金、賠償金，如有剩餘，在支付第 13 條規定的費用之際予以退還。
4. 客人不能依據第 2 款的規定在本飯店指定的日期之前支付申請費時，住宿合同失效。但是，這僅限在本飯店指定了申請費的支付期限並將之通知了客人的情況下。

(不需支付申請費的特約)

第 4 條

1. 不拘前條第 2 款的規定，本飯店有時也接受在合同成立後不需支付申請費的特別約定。
2. 在接受住宿合同申請之際，本飯店沒有要求支付前條第 2 款規定的申請費及沒有指定申請費的支付日期時，即視為接受了前款規定的特約。

(拒絕簽訂住宿合同)

第 5 條

1. 在下述情況下，本飯店有時不予簽訂住宿合同。
 - (1) 住宿申請不符合本條款的規定時。
 - (2) 因客房已滿而沒有空房時。
 - (3) 認為欲住宿者在住宿方面可能會有違反法律規定、公共秩序或者良好風俗的行為時。
 - (4) 欲住宿者為暴力團、暴力團員、暴力團相關團體或者相關人員、其它反社會性勢力時。
 - (5) 欲住宿者為暴力團或者暴力團員支配事業活動的法人、其它團體時。
 - (6) 欲住宿者為法人，其高級幹部之中有屬於暴力團者時。
 - (7) 欲住宿者對本飯店或者本飯店的職工進行了暴力性要求行為，或者提出超出合理範圍的要求時。
 - (8) 確定欲住宿者為傳染病患者時。
 - (9) 由於天災、設施的故障以及其它不得已的事由，不能接待住宿時。
 - (10) 因欲住宿者爛醉如泥而有可能給其他住宿客人造成困擾時，有明顯給其他住宿客人造成困擾的言行時，不在住宿者名簿上登記或者對記載事項有虛假申告時，確認明顯無支付能力時。
 - (11) 符合都道府縣制定的旅館業法施行條例的規定時。

(住宿客人的解除合同權)

第 6 條

1. 住宿客人可以向本飯店提出解除住宿合同。
2. 本飯店在住宿客人因其自身應承擔責任的事由解除了全部或者部分住宿合同的情況下（不包括依據第 3 條第 2 款的規定本飯店指定了支付日期要求客人支付申請費，而住宿客人在支付之前解除了住宿合同時），將依據附表 2 的規定收取違約金。但是，在本飯店接受了第 4 條第 1 款規定的特約的情況下，僅限於本飯店在接受特約之際，告知了住宿客人解除住宿合同須支付違約金時。
3. 本飯店在住宿客人沒有聯繫而在住宿日期當天的晚上 8 點過後（在事先明示了預定到達時刻的情況下，則在超過該時刻 2 小時）仍未到達時，則作為住宿客人解除了該住宿合同處理。

(本飯店的解除合同權)

第 7 條

1. 在下述情況下，本飯店將會解除住宿合同。
 - (1) 認為住宿客人在住宿方面可能會有違反法律規定、公共秩序或者良好風俗的行為時，或者已有上述行為時。
 - (2) 確定欲住宿客人為傳染病患者時。
 - (3) 由於天災等不可抗力引起的事由不能接待住宿時。
 - (4) 為暴力團、暴力團員、暴力團相關團體或者相關人員、其它反社會性勢力時。

- (5) 為暴力團或者暴力團員支配事業活動的法人、其它團體時。
 - (6) 為法人，其高級幹部之中有屬於暴力團者時。
 - (7) 住宿客人對本飯店或者本飯店的職工進行了暴力性要求，或者提出超出合理範圍的要求時。
 - (8) 因欲住宿者爛醉如泥而有可能給其他住宿客人造成困擾時，有明顯給其他住宿客人造成困擾的言行時，不在住宿者名簿上登記或者對記載事項有虛假申告時，確認明顯無支付能力時。
 - (9) 不遵守本飯店規定的利用規則的禁止事項時。
 - (10) 在客房床上吸煙、玩弄消防用設備等、不遵守其它本飯店規定的利用規則的禁止事項（限於預防火災所需事項）時。
 - (11) 符合都道府縣制定的旅館業法施行條例的規定時。
2. 本飯店依據前款的規定解除了住宿合同時，不收取住宿客人尚未接受的住宿服務等的費用。

（住宿登記）

第 8 條

1. 住宿客人須在開始住宿的當天，在本飯店的前台登記以下事項。
 - (1) 住宿客人的姓名、年齡、性別、住址及職業
 - (2) 外國人須登記國籍、護照號碼、入境地點及入境年月日
 - (3) 出發日及預定出發時刻
 - (4) 其它本飯店認為必要的事項
2. 住宿客人以住宿券、信用卡等能夠替代貨幣的方法支付第 13 條規定的費用時，須事先在進行前款規定的登記時予以出示。

（客房的使用時間）

第 9 條

1. 住宿客人可以使用本飯店客房的時間為，【東京西葛西 / 東京西葛西 Grande: 自下午 3 點至次日上午 10 點、橫濱: 自下午 2 點至次日上午 10 點】。但是，在連續住宿的情況下，除到達之日及出發之日外，可以整天使用。
2. 不拘前款的規定，本飯店有時可以在前款規定的時間外為客人使用客房提供方便。這種情況下，收取如下追加費用。
 - (1) 到正午，基本房費的 30%
 - (2) 到下午 3 點，基本房費的 50%
 - (3) 下午 3 點以後，1 天的房費

(遵守利用規則)

第 10 條

1. 住宿客人在本飯店內須遵守本飯店規定並在本飯店內張貼的利用規則。

(客房的清掃)

第 11 條

1. 當顧客連續 2 晚以上住宿在同一個客房時，該客房原則上每天都進行清掃。
2. 由於旅館業法中有關於保持衛生與環境的規定，因此，即便顧客提出不需要清掃的意願，我們也會每過 2 天清掃一次客房。

(營業時間)

第 12 條

1. 本飯店的主要設施等的營業時間如下所示，其它設施等的詳細營業時間則通過備置的小冊子、各處張貼的佈告、客房內的服務項目目錄等予以介紹。
 - (1) 前台、會計等服務時間：
 - a. 前台服務：二十四小時
 - (2) 餐飲等（設施）的服務時間：
 - a. 早餐・・・東京西葛西：6:45～9:30
東京西葛西 Grande：6:30～10:00
橫濱：7:00～9:30
 - b. 午餐・・・東京西葛西：11:30～14:00
橫濱：11:30～14:00（週日和節假日為休息日）
 - c. 晚餐（僅限東京西葛西）・・・17:30～21:30（週六週日和節日的最終入店時間為 20:30）
 - (3) 附帶服務設施的服務時間：依據本飯店的規定。
 2. 上述營業時間在必要或不得已的情況下會有臨時變更。屆時會以適當的方法予以通知。
 3. 即便是顧客在可以使用客房的時間段內，當本飯店認為在安全、衛生管理以及其他本飯店運營管理方面有必要時，可以進入客房，並採取必要措施。

(支付費用)

第 13 條

1. 住宿客人應予支付的住宿費用等的細目及其精定方法，如附表 1 所示。
2. 在住宿客人到達時或者本飯店要求付款時，客人應在前台以貨幣或者本飯店認可的住宿券、信用卡等能夠替代貨幣的方法支付前項規定的住宿費用等。
3. 在本飯店向住宿客人提供了客房，並可以使用之後，即使是在住宿客人自願沒有住宿的情況下，也收取住宿費用。

(本飯店的責任)

第 14 條

1. 本飯店在履行住宿合同及與之有關的合同之際，或者由於不履行這些合同，給住宿客人造成損害時，賠償其損失。但是，因不應由本飯店負責的事由造成的損失不在此限內。
2. 本飯店已領取了消防機關發給的防災優良認定書，在努力完善防災設施之外，為了應對發生火災等意外情況，已經加入了旅館賠償責任保險。

(無法提供已簽約客房時的處理)

第 15 條

1. 本飯店在無法向住宿客人提供已簽約的客房時，經取得住宿客人的諒解，儘可能以同等條件介紹其它住宿設施。
2. 儘管有前款規定，本飯店在也無法介紹其它住宿設施時，向住宿客人支付相當於違約金的補償費，並將該補償費充作損害補償額。但是，無法提供客房的事由並非由本飯店承擔責任時，不予支付補償費。

(寄存物品的處理)

第 16 條

1. 住宿客人寄存在前台的物品或者現金及貴重品發生了丟失、損壞等損害時，除屬於不可抗力的情況外，本飯店賠償該損失。但是，在本飯店要求明確告知現金及貴重品的種類及價額，而住宿客人並未進行告知的情況下，本飯店以 5 萬日圓為限度進行損害賠償。
2. 住宿客人未寄存在前台的攜帶的物品或者現金及貴重品，因本飯店的故意或者過失而發生了丟失、損壞等損害時，本飯店賠償該損失。但是，對於住宿客人沒有事先明確告知種類及價額的物品，除本飯店故意或者有重大過失的情況外，本飯店以 3 萬日圓為限度進行損害賠償。

(住宿客人的行李或者攜帶品的保管)

第 17 條

1. 在住宿客人的行李先於客人到達本飯店的情況下，本飯店只限在行李到達之前已了解時負責予以保管，並在住宿客人在前台辦理住宿手續時交給客人。
2. 住宿客人已經退房離開後，在發現住宿客人的行李或者攜帶品遺忘在本飯店的情況下，在查明物主時，本飯店在通知物主的同時請示其指示。但是，在物主沒有指示，或者無法查明物主時，自發現之日起在一定期間內由飯店予以保管，然後依據遺失物法進行處理。
3. 關於在前 2 款所述的情況下保管住宿客人的行李或者攜帶品時本飯店所負的責任，在第 1 款所述的情況下依據前條第 1 款的規定，在第 2 款所述的情況下依據同條第 2 款的規定。

(停車的責任)

第 18 條

1. 在住宿客人利用本飯店的停車場的情況下，不論是否寄存車鑰匙，本飯店只是出借場所，並不承擔管理車輛的責任。但是，管理停車場之際，因本飯店的故意或者過失而造成損害時，承擔賠償責任。

(住宿客人的責任)

第 19 條

1. 因住宿客人的故意或者過失而使本飯店蒙受損失時，該住宿客人須向本飯店賠償損失。

(免責事項)

第 20 條

1. 在本飯店內利用電腦通訊之際，由客人自己承擔責任。利用電腦通訊中因系統故障及其它理由而服務中斷，結果利用者蒙受損害，即使在這種情況下本飯店也不負任何責任。並且因利用電腦通訊中有本飯店判斷為不妥當的行為，而使本飯店及第三方受到損害時，該客人要賠償損失。

附表 1 住宿費用等的細目（與第 2 條第 1 款、第 3 條第 2 款及第 12 條第 1 款有關）

		細目
住宿客人 應支付總額	住宿費用	①基本住宿費（房費〈及房費+早餐等的飲食費〉）
	追加費用	②追加餐飲（不包括①所含內容）
	稅金	a. 消費稅 b. 沐浴稅（僅限溫泉地）

1. 基本住宿費依據小冊子中所示的價格表。
2. 稅法被改正時，依據經改正的規定。

附表 2 違約金（與第 6 條第 2 款有關）

合同申請人數		接到解除合同 通知之日	不 住 宿	當 天	1 天 前	9 天 前	20 天 前
一般	不超過 14 人	100%	80%	20%	—	—	
團體	15～99 人	100%	80%	50%	20%	—	
	100 人以上	100%	100%	80%	20%	10%	

1. %為相對基本住宿費的違約金的比率。
2. 在合同天數縮短了的情況下，無關縮短天數如何，收取 1 天份（第一天）的違約金。
3. 解除團體客人（15 名以上）中部分合同的情況下，在住宿日期的 10 天前（在 10 天之內接受了申請的情況下則為接受申請之日）接到解除合同通知時，對相當於原簽約住宿人數 10%（有尾數時進位）的解約人數不收取違約金。

숙박약관

숙박 약관

(적용 범위)

제1조

1. 당 호텔이 숙박객과의 사이에서 체결하는 숙박 계약 및 이에 관련되는 계약은 이 약관이 정하는 바에 따르는 것으로 하며, 이 약관에서 정하지 않은 사항에 대해서는 법령 또는 일반적으로 확립된 관습에 따르는 것으로 합니다.
2. 당 호텔이 법령 및 관습에 반하지 않는 범위에서 특약에 응했을 때는 전항의 규정에 관계없이 그 특약이 우선하는 것으로 합니다.

(숙박 계약의 신청)

제2조

1. 당 호텔에 숙박 계약을 신청하려고 하는 분은 다음 사항을 당 호텔에 신고해야 합니다.
 - (1) 숙박자명
 - (2) 숙박일 및 도착 예정시각
 - (3) 숙박요금(원칙적으로 별표 제1의 기본숙박료에 의함.)
 - (4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항
2. 숙박객이 숙박 중에 전항 제(2)호의 숙박일을 초과하여 숙박 연장을 신청했을 경우, 당 호텔은 그 신청이 이루어진 시점에서 새로운 숙박 계약 신청이 있었던 것으로 처리합니다.

(숙박 계약의 성립 등)

제3조

1. 숙박 계약은 당 호텔이 전조의 신청을 승낙했을 때에 성립하는 것으로 합니다. 단, 당 호텔이 승낙하지 않은 것을 증명했을 때는 이에 해당되지 않습니다.
2. 전항의 규정에 따라 숙박 계약이 성립했을 때는 숙박기간(3일을 초과했을 때는 3일간)의 기본 숙박료를 한도로 하여 당 호텔이 정하는 신청금을 당 호텔이 지정하는 날까지 지불해야 합니다.
3. 신청금은 우선 숙박객이 최종적으로 지불해야 할 숙박 요금으로 충당하고, 제6조 및 제19조의 규정을 적용하는 사태가 발생했을 때는 위약금에 이어 배상금의 순서로 충당하며, 잔액이 있으면 제13조의 규정에 의한 요금 지불 시에 반환합니다.
4. 제2항의 신청금을 동항의 규정에 따라 당 호텔이 지정한 날까지 지불하지 않을 경우에는 숙박 계약은 그 효력을 상실하는 것으로 합니다. 단, 신청금의 지불기일을 지정함에 있어서 당 호텔이 그 취지를 숙박객에게 통지한 경우에만 한합니다.

(신청금의 지불을 필요로 하지 않는 특약)

제4조

1. 전조 제2항의 규정에 관계없이 당 호텔은 계약 성립 후 동항의 신청금 지불을 필요로 하지 않는 특약에 따르는 경우가 있습니다.

2. 숙박 계약의 신청을 승낙함에 있어서 당 호텔이 전조 제2항의 신청금 지불을 요구하지 않았을 경우 및 해당 신청금의 지불기일을 지정하지 않았을 경우에는 전항의 특약에 따른 것으로 취급합니다.

(숙박 계약 체결의 거부)

제5조

1. 당 호텔은 다음에 열거하는 경우에 숙박 계약의 체결에 따르지 않는 경우가 있습니다.
 - (1) 숙박 신청이 이 약관에 따르지 않을 때.
 - (2) 만실로 인하여 객실에 여유가 없을 때.
 - (3) 숙박하려고 하는 사람이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서, 미풍양속에 어긋나는 행위를 할 우려가 있다고 인정될 때.
 - (4) 숙박하려고 하는 사람이 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계단체 또는 관계자, 기타 반사회적 세력일 때.
 - (5) 숙박하려고 하는 사람이 폭력단 또는 폭력단원이 사업활동을 지배하는 법인, 기타 단체일 때.
 - (6) 숙박하려고 하는 사람이 법인으로 그 임원 중에 폭력단에 해당하는 사람이 있을 때.
 - (7) 숙박하려고 하는 사람이 당 호텔 또는 당 호텔 종업원에게 폭력적 요구행위를 하거나 또는 합리적 범위를 넘는 부담을 요구하였을 때.
 - (8) 숙박하려고 하는 사람이 전염병자라고 확실히 인정될 때.
 - (9) 천재, 시설의 고장, 기타 부득이한 사유로 인하여 숙박시킬 수 없을 때.
 - (10) 숙박하려고 하는 사람이 만취 등으로 인해 다른 숙박객에게 폐를 끼칠 우려가 있을 때. 다른 숙박객에게 현저하게 폐를 끼치는 언동을 했을 때. 숙박자 명부 기재에 응하지 않거나 또는 기재사항에 대해 허위 신고를 했을 때. 지불능력이 없다고 확실히 인정될 때.
 - (11) 도도부현이 정한 여관업법 시행조례의 규정에 해당할 때.

(숙박객의 계약해제권)

제6조

1. 숙박객은 당 호텔에 신청하여 숙박 계약을 해제할 수 있습니다.
2. 당 호텔은 숙박객의 귀책사유로 인하여 숙박 계약 전부 또는 일부를 해제했을 경우(제3조 제2항의 규정에 의하여 당 호텔이 신청금 지불 기일을 지정하여 그 지불을 요구했을 경우로, 그 지불보다 이전에 숙박객이 숙박 계약을 해제했을 때는 제외)는 별표 제2에 기재한 바에 따라 위약금을 받습니다. 단, 당 호텔이 제4조 제1항의 특약에 응했을 경우에는 그 특약에 응함에 있어서, 숙박객이 숙박 계약을 해제했을 때의 위약금 지불 의무에 대하여 당 호텔이 숙박객에게 통지했을 경우에 한합니다.
3. 당 호텔은 숙박객이 연락없이 숙박일 당일 오후 8시(미리 도착 예정시각이 명시되어 있을 경우는 그 시각을 2시간 경과한 시각)가 되어도 도착하지 않을 때는 그 숙박 계약은 숙박객에 의해 해제된 것으로 간주하여 처리할 수 있습니다.

(당 호텔의 계약해제권)

제7조

1. 당 호텔은 다음에 열거하는 경우에 숙박 계약을 해제할 수 있습니다
 - (1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서, 미풍양속에 어긋나는 행위를 할 우려가 있다고 인정될 때 또는 이와 같은 행위를 했다고 인정될 때.
 - (2) 숙박객이 전염병자라고 확실히 인정될 때.
 - (3) 천재 등 불가항력에 기인하는 사유로 인하여 숙박시킬 수 없을 때.
 - (4) 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관계단체 또는 관계자, 기타 반사회적 세력일 때.
 - (5) 폭력단 또는 폭력단원이 사업활동을 지배하는 법인, 기타 단체일 때.
 - (6) 법인으로 그 임원 중에 폭력단에 해당하는 사람이 있을 때.
 - (7) 숙박객이 당 호텔 또는 당 호텔 종업원에게 폭력적 요구를 하거나 또는 합리적 범위를 넘는 부담을 요구하였을 때.
 - (8) 숙박하려고 하는 사람이 만취 등으로 인해 다른 숙박객에게 폐를 끼칠 우려가 있을 때. 다른 숙박객에게 현저하게 폐를 끼치는 언동을 했을 때. 숙박자 명부 기재에 응하지 않거나 또는 기재사항에 대해 허위 신고를 했을 때. 지불능력이 없다고 확실히 인정될 때.
 - (9) 당 호텔이 정한 이용규칙의 금지사항에 따르지 않을 때.
 - (10) 침실에서 누운 채로 담배를 피우거나 소방용 설비 등에 대한 장난, 기타 당 호텔이 정한 이용규칙의 금지사항(화재 예방상 필요한 것에 한함.)에 따르지 않을 때.
 - (11) 도도부현이 정한 여관업법 시행조례의 규정에 해당할 때.
2. 당 호텔이 전항의 규정에 근거하여 숙박 계약을 해제했을 때는 숙박객에게 아직 제공하지 않은 숙박 서비스 등의 요금은 받지 않습니다.

(숙박 등록)

제8조

1. 숙박객은 숙박일 당일 당 호텔의 프런트에 다음 사항을 등록해야 합니다.
 - (1) 숙박객의 성명, 연령, 성별, 주소 및 직업
 - (2) 외국인인 경우는 국적, 여권번호, 입국지 및 입국년월일
 - (3) 출발일 및 출발 예정시각
 - (4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항
2. 숙박객이 제13조의 요금 지불을 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신하는 방법으로 지불하고자 할 때는 미리 전항의 등록 시에 그것을 제시해야 합니다.

(객실의 사용시간)

제9조

1. 숙박객이 당 호텔의 객실을 사용할 수 있는 시간은 【도쿄 니시카사이/도쿄 니시카사이 그란데 : 오후 3시부터 다음날 아침 10시까지, 요코하마 : 오후 2시부터 다음날 아침 10시까지】로 합니다. 단, 연속해서 숙박할 경우에는 도착일 및 출발일을 제외하고 종일 사용할 수 있습니다.

2. 당 호텔은 전항의 규정에 관계없이 동항에서 정하는 시간 외 객실 사용에 응하는 경우가 있습니다. 이 경우에는 다음과 같은 추가요금을 받습니다.

- (1) 정오까지는 기본 객실요금의 30%
- (2) 오후 3시까지는 기본 객실요금의 50%
- (3) 오후 3시이상은 1일분 객실요금

(이용규칙의 준수)

제10조

1. 숙박객은 당 호텔내에 있어서는 당 호텔이 정하여 당 호텔내에 게시한 이용 규칙에 따라야 합니다.

(객실 청소)

제11조

1. 손님이 2박 이상 연속하여 같은 객실에 숙박하는 경우 해당 객실의 청소는 원칙적으로 매일 합니다.
2. 손님에게서 청소 필요없다는 취지의 요청을 받은 경우라도 여관업법에서 정하는 위생환경 보전을 위해 2일 경과시마다 1회 청소를 합니다.

(영업시간)

제12조

1. 당 호텔의 주된 시설 등의 영업 시간은 다음과 같으며, 기타 시설 등의 자세한 영업시간은 비치된 팸플릿, 각 장소에 게시, 객실 내의 서비스 이용안내서 등에서 안내합니다.

(1) 프런트·캐시어 등 서비스 시간:

a. 프런트 서비스: 24시간

(2) 음식 등(시설) 서비스 시간:

a. 조식... 도쿄 니시카사이 : 6:45~ 9:30

도쿄니시카사이 그란데 : 6:30~10:00

요코하마 : 7:00~ 9:30

b. 중식... 도쿄 니시카사이 : 11:30~14:00

요코하마 : 11:30~14:00(일, 공휴일은 휴점)

c. 석식(도쿄 니시카사이만)... 17:30~21:30(토, 일, 공휴일은 최종입장 20:30)

(3) 부대 서비스시설 시간: 당 호텔 규정에 따르는 것으로 합니다.

2. 상기 영업시간은 부득이한 경우에 임시로 변경하는 경우가 있습니다. 그러한 경우에는 적당한 방법으로 안내합니다.

3. 손님이 객실을 사용할 수 있는 시간내이더라도 당 호텔은 안전 및 위생관리, 기타 당 호텔 운영관리상의 필요가 있을 때는 객실에 들어가서 필요한 조치를 취할 수 있는 것으로 합니다.

(요금 지불)

제13조

1. 숙박객이 지불해야 할 숙박 요금 등의 내역 및 그 정산방법은 별표 제1에 기재하는 것에 따릅니다.
2. 전항의 숙박 요금 등의 지불은 통화 또는 당 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드 등 이것을 대신할 수 있는 방법으로 숙박객의 도착 시 또는 당 호텔이 청구했을 때 프런트에서 지불해야 합니다.
3. 당 호텔이 숙박객에게 객실을 제공하고 사용이 가능하게 된 후, 숙박객이 임의로 숙박하지 않았을 경우에도 숙박 요금은 받습니다.

(당 호텔의 책임)

제14조

1. 당 호텔은 숙박 계약 및 이와 관련되는 계약 이행에 있어서, 또는 불이행으로 인하여 숙박객에게 손해를 입었을 때는 그 손해를 배상합니다. 단, 그것이 당 호텔의 귀책사유에 의한 것이 아닐 때는 이에 해당되지 않습니다.
2. 당 호텔은 소방기관으로부터 방재우량인증서를 받았습지만, 방재시설 정비에 노력하는 외에 만일의 화재 등에 대처하기 위하여 여관배상책임보험에 가입하고 있습니다.

(계약한 객실을 제공할 수 없을 때의 취급)

제15조

1. 당 호텔은 숙박객에게 계약한 객실을 제공할 수 없을 때는 숙박객의 양해를 얻어 가능한 한 동일 조건의 다른 숙박시설을 알선하는 것으로 합니다.
2. 당 호텔은 전항의 규정에 관계없이 다른 숙박시설을 알선할 수 없을 때는 위약금 상당액의 보상을 숙박객에게 지불하고 그 보상은 손해배상액으로 충당합니다. 단, 객실을 제공할 수 없는 것이 당 호텔의 귀책사유에 의한 것이 아닐 때는 보상을 지불하지 않습니다.

(기탁물 등의 취급)

제16조

1. 숙박객이 프런트에 맡긴 물품 또는 현금 및 귀중품에 대해서, 멸실, 훼손 등의 손해가 발생했을 때는 그것이 불가항력일 경우를 제외하고 당 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 현금 및 귀중품에 대해서는 당 호텔이 그 종류 및 가격의 명시 신고를 요구했을 경우, 숙박객이 그것을 이행하지 않았을 때는 당 호텔은 5만엔을 한도로 하여 그 손해를 배상합니다.
2. 숙박객이 당 호텔내에 지참한 물품 또는 현금 및 귀중품으로 프런트에 맡기지 않은 것에 대해 당 호텔의 고의 또는 과실로 인하여 멸실, 훼손 등의 손해가 발생했을 때는 당 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 숙박객으로부터 미리 종류 및 가액의 명시 신고가 없었던 것에 대해서는 당 호텔에 고의 또는 중대한 과실이 있을 경우를 제외하고, 3만엔을 한도로 하여 당 호텔은 그 손해를 배상합니다.

(숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관)

제17조

1. 숙박객의 수하물이 숙박하기 전에 당 호텔에 도착했을 경우에는, 그 도착 전에 당 호텔이 양해했을 때에 한해서 책임을 지고 보관하고 숙박객이 프런트에서 체크인할 때 건네드립니다.
2. 숙박객이 체크아웃한 후, 숙박객의 수하물 또는 휴대품을 당 호텔에 잊고 두고 갔을 경우 그 소유자가 판명되었을 때 당 호텔은 해당 소유자에게 연락을 하는 동시에 그 지시를 받는 것으로 합니다. 단, 소유자의 지시가 없을 때 또는 소유자가 판명되지 않을 때는 발견일로부터 일정기간 호텔에서 보관하고, 그 후는 유실물법에 의거하여 취급합니다.
3. 전2항의 경우에 있어서 숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관에 관한 당 호텔의 책임은, 제1항의 경우에 있어서는 전조 제1항의 규정에, 전항의 경우에 있어서는 동조 제2항의 규정에 준하는 것으로 합니다.

(주차의 책임)

제18조

1. 숙박객이 당 호텔의 주차장을 이용할 경우 차량 키의 기탁 여하에 관계없이 당 호텔은 장소를 대여하는 것으로 차량의 관리책임까지 지는 것은 아닙니다. 단, 주차장의 관리에 있어서 당 호텔의 고의 또는 과실에 의해 손해를 입혔을 때는 그 배상 책임을 집니다.

(숙박객의 책임)

제19조

1. 숙박객의 고의 또는 과실로 인하여 당 호텔이 손해를 입었을 때는 해당 숙박객은 당 호텔에 대하여 그 손해를 배상해야 합니다.

(면책사항)

제20조

1. 당 호텔에서의 컴퓨터 통신 이용에 있어서는 손님 자신의 책임으로 이용하는 것으로 합니다. 컴퓨터 통신 이용중에 시스템 장애, 기타 이유에 의해 서비스가 중단되고, 그 결과 이용자가 여하한 손해를 입은 경우라도 당 호텔은 일절 책임을 지지 않습니다. 그리고 컴퓨터 통신의 이용에 당 호텔이 부적절하다고 판단한 행위로 인해 당 호텔 및 제3자에게 손해가 발생한 경우 그 손해를 배상해야 합니다.

별표 제1 숙박 요금 등의 내역 (제2조 제1항, 제3조 제2항 및 제12조 제1항 관계)

		내역
숙박객이 지불해야 할 총액	숙박 요금	①기본숙박료 (객실료 <및> 객실료+조식 등 음식요금)
	추가 요금	②추가 음식 (①에 포함되는 것을 제외)
	세금	a. 소비세 b. 입탕세 (온천지에 한함)

1. 기본숙박료는 팸플릿에 게시하는 요금표에 따릅니다.
2. 세법이 개정된 경우는 그 개정된 규정에 의하는 것으로 합니다.

별표 제2 위약금 (제6조 제2항 관계)

계약 해제의 통지를 받은 날 계약 신청 인원수		불 박	당 일	전 날	9 일 전	20 일 전
일반	14명까지	100%	80%	20%	—	—
단체	15~99명까지	100%	80%	50%	20%	—
	100명 이상	100%	100%	80%	20%	10%

1. %는 기본숙박료에 대한 위약금의 비율입니다.
2. 계약일수가 단축되었을 경우는 그 단축 일수에 관계없이 1일분(첫날)의 위약금을 받습니다.
3. 단체손님(15명이상)의 일부에 대해 계약의 해제가 있었을 경우, 숙박 10일전(그날 이후에 신청을 접수했을 경우에는 그 접수한 날)에 있어서 숙박 인원수의 10%(끝수가 나오면 올림)에 해당되는 인원수에 대해서는 위약금은 받지 않습니다.

◆ 有難うございます ◆

◆ Thank you very much ◆

◆ 谢谢 ◆

◆ 謝謝 ◆

◆ 감사합니다 ◆